

4月2日(火)

新しい心と新しい霊

聖書朗読 エゼキエル 18:25~32

あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。

エゼキエル 36:26

私は、今だに何年も前についてしまった嘘のことを考えると、心が痛くなり恥ずかしさを覚えます。悔い改めて 罪を完全に赦していただけるように祈りました。結局のところ、詩篇103:12で言われているように、『東が西から遠く離れているように、私たちの背きの罪を私たちから遠く離される。』のです。頭でも心でも自分の罪は赦さたと分かっています。しかし、まだ痛みがあります。同じ間違いを2度と起こさないように思い出させてくれるものなのかもしれません。

もし罪を無視したり、隠そうとしたり、正当化したり、軽いことだと考えていては何も学ばません。私たちが悔い改めて罪から離れ、罪を犯さないために痛みを記憶を思い出す時、罪の自覚は私たちに役立つものになります。私たちを愛してくださる天のお父様に近づけてくれるのです。

エゼキエルは、私たちが罪から離れるようにと、いかに神様が強く望んでおられるかを教えてくれています。彼は命を得るには それが必要だと知っています。エゼキエルは私たちが神様から離れてしまう罪の痛みをどのように応答していくかが大事なことだと思っています。私たちは、主の足許で身を低くして初めて、完全なる赦しを受けることができるのです。

讃美歌 332

祈り 聖なる神様。あなたは素晴らしいお方です。あなたは、救いの道と希望の道と、新生の道と命の道を用意してくださいました。あなたが私たちを愛しておられる方だと理解し、悔い改める勇気を与えてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

R・L・ブレンリー

カルフォルニア州 エスコンディド

4月3日(水)

もしそうでなくても

聖書朗読 ダニエル 3:8~18

そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私がいらない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いの達成に努めなさい。神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。

ピリピ 2:12~13

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの物語を読むたびに3人の信仰と勇敢さに驚かされます。死を突きつけられ脅されてもネブカデネザル王の金の像を拜むという命令を拒否しました。

彼らは大胆に言いました。『私たちが仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことが出来ます。王よ。神は私たちをあなたの手からでも救い出します。』

『もしそうでなくても・・・』、この言葉は力強い教訓です！ 激しい誘惑や厳しい試練に直面した場合、神様はその状況から素早く救い出すことがおできになることは確かです。しかし、問題が取り去られない場合もあります。そうであっても勇気を失ったり、神様に不誠実であってはならないのです。

正しいことをするごとに、私たちの信仰と勇気は少しずつ強められます。しかし、私たちが正しいことができるように導いてくださるのは 誰でしょうか。

主は私のいのちのとりで、だれを私はこわがらう。 詩篇 27:1

讃美歌 500

祈り 天のお父様。私の人生で、神様がどのように働いてくださるのかよくわかりません。しかし全てが益となるようにして下さっていることはわかります。それだけで十分です。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ロン・グロス

コロラド州 キャノンシティ

4月4日(木)

種蒔きと収穫

聖書朗読 ホセア 8:1~7

彼らは風を蒔いて、つむじ風を刈り取る。

ホセア 8:7

「神の御国の種蒔きをしていますか、兄弟よ」という英語の賛美歌があります。英語では最後のところは「キングダム、ブラザー」となります。しかし、区切る部分を変えると「キング、ダムブラザー」となります。「ダムブラザー」は、「愚かな兄弟」という意味です。お招きした説教者がそういう冗談を言ったことがあり、この曲を賛美するたびに思い出しくスッとしてしまいます。それと同時に自分が「愚かな兄弟」でないことも望みます。

さて、あなたは種を蒔いて、作物が枯れるようにと祈ったことがありますか。例えると、嘘をついて、誰も気づきませんように、神様も気がつきませんようにと思ったことはありませんか。誰かを陥れることで自分の価値を上げようとしたことはありますか？ 釣り銭を多く受け取った時、神様が祝福してくださったと解釈したことはありますか。私たち誰もが時々「愚かな兄弟」に成り下がってしまいます。

しかし、希望があります。神様は枯れてしまうとは約束していません(そういう行動を度々してしまう私たちではありますが)。神様は、私たちの悔いる心を憐れんでくださり、主の栄光を表す種を蒔く人たち全員を祝福してくださるのです。

讚美歌 503

祈り 主よ。あなたの憐れみに感謝いたします。自分の蒔いた種が痛みとなって降りかかっています。どうぞ赦してください。今日仕事をしたり、様々なことをする上での知恵をください。私たちの行動や言葉であなたの栄光を表すことができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ビル・アドコック

オクラホマ州 ベソニー

4月5日(金)

自己憐憫

聖書朗読 ヨナ書 4章

まして、わたしは、この大きな町ニネベを惜しまないでいられようか。そこには、右も左もわきまえない十二万人以上の人間と、数多くの家畜とがいるではないか。

ヨナ 4:11

「誰からも好かれてない、全員から嫌われている、虫を食べよう」。私が自己憐憫に浸っている時、母がこの歌をよく歌っていました。ニネベの町の東の方に座っていたヨナも自己憐憫に浸りました。ヨナはニネベの人を妬み、神様がニネベの町になさろうとする優しさを面白く思いませんでした。

ヨナは神様の命令から逃れるために、タルシシュ行きの船に乗り込みました。彼の言い訳が聞こえて来ます。「不公平だ。ニネベは我々の敵ではないか。滅びて欲しいくらいだ。救われるとはなんたることか」。

自己憐憫に浸ったのはヨナだけではありませんでした。イスラエル民族もそうでした。エジプトの奴隷であった身分から解放されたばかりなのに、エジプトの軍隊が間近に迫った時、モーセにこう訴えました。『エジプトには墓がないので、あなたは私たちを連れて来て、この荒野で、死なせるのですか。私たちをエジプトから連れ出したりして、いったい何ということをお私たちにしてくれたのです。』(出エジプト 14:11)

ヨナの自己憐憫の核心点は、神を信頼することを拒否し、自己中心になることに夢中になったことです。ヨナはニネベの人の魂のことは微塵も考えず、自分のことしか考えていませんでした。それに比べて、パウロは違いました。彼は、神様の厳しい愛を伝えるために喜んでローマに出かけました。

讚美歌 510

祈り 親愛なる神様。私たちは、他の人が恵みをいただく時、苦い思いを抱いてしまいます。私たちの心が神様への思いで満たされますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ブルース・W・ルージ

カルフォルニア州 マーセド

4月6日(土)

神様のための時間はありますか？

聖書朗読 ハガイ 1：2～9

多くの種を蒔いたが少ししか取り入れられず、食べたが飽き足らず、

ハガイ 1：6

忙しい、忙しい、忙しい。ユダヤ人が捕囚から解放された時、神様はイスラエルの神殿を再建するように命令しました。しかし、ユダヤ人は日々の生活や自分のやりたいことを優先し、先延ばしにしていました。時間をとって神の家を建てることはこの次にしていたのです。

あなたの優先順位は何ですか。お金を稼ぐことや出世することでしょうか。家を改築したり、旅行したり、スポーツ観戦に行ったり、ショッピングしたりすることでしょうか。あらゆる贅沢なことに時間は取るのに、神様との時間は取れないということはありませんか。病気の人を見舞ったり、誰かのために祈ったり、聖書を読んだり教えたり、誰かに親切にする方法を考えたり思いやったりすることを、優先順位の上位に入れる必要があるでしょう。

神様は、神様を第一にするときには全ての必要を与えてくださると約束してくださっています。神様を第一にして神様への愛を表しましょう。

主に捧げます

それさえも

主からいただいた物なのです

——ウィリアム・W・ハウ

讃美歌 「忘れないで」(子どもさんびか)

祈り 天にましますお父様。全ての祝福をありがとうございます。いただいた祝福を神様の栄光を表したり、他の方にお仕えるために使えるようにお導きください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェイン・ポー・マッセイ
テキサス州 ヒューストン

4月7日(日)

下ってこられた方

聖書朗読 マタイ 3：13～17

わたしが天から下って来たのは、自分のところを行うためではなく、わたしを遣わされた方のみところを行うためです。

ヨハネ 6：38

イエス様はご自分の天の栄光をお捨てになりました。ヨルダン川においでになった時は、すでに十分に身を低くしてくださっておりました。天の栄光をお捨てになるほどの価値があると思ってくださっていたのです。

バプテスマのヨハネは、罪の赦しに導く悔い改めのバプテスマを宣べ伝えました(マルコ1：4)。多くの人が、自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けました(マルコ1：5)。イエス様がヨルダン川でバプテスマをお受けになる事は、正しい事でした。「ヨルダン」とはうまく名づけられたものです。「ヨルダン」は「下る」という意味だからです。ヨルダン川は下って行って地球上で一番低い死海に流れ込みます。天から下ってきたイエス様は、「下る」という意味のヨルダン川に下り、私たち普通の人間と同じようにバプテスマを受けられたのです。

『これに反して、パリサイ人や律法の専門家たちは、彼からバプテスマを受けないで、神の自分たちに対するみこころを拒みました。』(ルカ 7：30)。罪のないイエス様がバプテスマをお受けになったのにもかかわらず、受けなければならない人たちはそれを拒んだのです！

死海の中に消えてしまうヨルダン川と違って、イエス様は十字架での死に至るまで低く下りました。しかし、罪を打ち破り、墓から蘇り、勝利したのです！『この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方なのです。』(エペソ4：10)

讃美歌 148

祈り 天のお父様。私たちが引き上げてくださるためにご自分の御子を一番低いところまで下らせてくださって、ありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイビッド・ギブソン
テキサス州 コマース